

# 競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2019年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。
3. 招 集 集 ○トラック競技は20分前、走高跳・走幅跳・砲丸投は40分前を招集時刻とする。  
○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。  
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。  
○招集所は雨天走路とする。（出入りについては、100mスタート地点後方、第4ゲートに限る）
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場とする。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。
6. 競 技 順 走路順・投跳順はプログラム掲載順とする。
7. トラック競技 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
8. ス パ イ ク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
9. ハートの規格  
A男子 110mJH～高さ99.1cm 13m72～9m14～14m02 10台  
B男子 110mH～高さ91.4cm 13m72～9m14～14m02 10台  
C男子 100mH～高さ84.0cm 13m00～8m50～10m50 10台  
A女子 100mYH～高さ76.2cm 13m00～8m50～10m50 10台  
B女子 100mH～高さ76.2cm 13m00～8m00～15m00 10台  
C女子 100mH～高さ76.2cm 13m00～8m00～15m00 10台
10. フィールド競技 走高跳以外のフィールド競技で出場者が8名を越える場合は、トップ8を決してさらに3回の試技を行う。記録会の部は3回の試技とする。円盤投・ジャバリックローは、本競技場で行う。  
走幅跳については、B男女はホームストレート側のピットで、C男女はバックストレート側のピットでそれぞれ行う。
11. バーの上げ方 男子A走高跳 160 165 170 175 180 185 以後3cm  
女子A走高跳 140 145 150 155 160 以後3cm  
男子・女子Cの記録会の部は、当日高さを設定する。  
(当日変更する場合もある)
12. 投擲物の重量  
砲丸 A男子 5.000kg C男子 2.721kg  
A女子 B男子 4.000kg C女子 2.721kg  
B女子 2.721kg  
円盤 ABC男子 1.500kg  
ABC女子 1.000kg
13. そ の 他
  - ・会場の整理、整頓に努めるとともに更衣室、ロッカー等に貴重品を置かない。
  - ・ゴミは必ず持ち帰ること。
  - ・審判員が少ないので選手は競技運営に協力すること。
  - ・競技する選手以外は競技場内立ち入ることができない。
  - ・応援横幕はスタンド上段に、のぼりはメインスタンド最上段に設置すること。
  - ・テントはメインスタンド、バックスタンドともに上段に設置すること。サイドスタンドは、通路より上に設置すること。
  - ・大型映像装置側のサイドスタンドは、映像装置前にテント・のぼり設置を禁止する。
  - ・ウォームアップ場には、設置してある用器具以外は持ち込まないこと。
  - ・メインスタンドでは、手すり際に立っての応援や集団での応援は禁止する。
  - ・中学生は、原則として競技場内で携帯電話を使用しないこと。
  - ・トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する8・9・10・11チャンネルの使用を禁止する。